

市議会議員 人権・同和問題研修報告

日程:令和6年2月13日(火)
 場所:全員協議会室(市役所5F)
 演題:「差別の現実に深く学ぶ」～耳を澄まそう、目を凝らそう～
 講師:西日本新聞論説委員 ^{まえだたかお}前田隆夫様



太宰府市議会は、「太宰府市人権・同和問題啓発推進会」構成31団体の一つであり毎年度、自主研修会を実施しています。

今回の研修内容は、差別や人権に関してどのようにして「知識」や「情報」を得たのか、そしてそれによる影響について各々が想像力を働かせて考え「ジブンゴト化」する事の大切さについて学びました。

前田様の講演終了後、数名の議員から質問があり、丁寧な回答を頂きたいへん有意義な研修会でした。

私たち議員は、今後の人権・同和問題の取り組みに「想像力」と「ジブンゴト化」を取り入れていきたいと考えております。

議会広報特別委員会 行政視察報告

日程:令和6年1月30日(火曜日) 視察項目:議会広報の編集について

●福岡県糟屋郡志免町 議会広報特別委員会

読み手を意識した取り組みが重要視され、多くの創意工夫がありました。

フォントや図式、表現方法、見出しや紙面向上の為のアンケートの実施など工夫は多岐に渡り、それを可能にする為には議会のICT化や広報委員会の役割分担なども徹底されていました。

委員会の日程が多く確保されている点や、一般質問の量によりページの増減が可能な点、粗原稿を質問者本人が一定の文字数で要約する点など本市としても検討していきたい事も数多くありました。



志免町

●福岡県福津市 議会広報調査特別委員会

「市民に手に取って貰える議会だより」を目指して、確固たる狙いを元にターゲットに合わせたマーケティングと試行錯誤を毎号行い着実に目標に向かって進化する「議会だより」製作が行われていました。

紙面としての読みやすさのみならず、地域や世代を巻き込んだ会議室を飛び出した取り組みは、広報委員の皆様の通年に渡る活動無くしては実現しない仕事量だと思われま。本市でも取り入れて行きたい取り組みが多数ありました。



福津市

◇編集後記◇

今回の編集作業では、令和6年3月定例会を受け、新年度予算を中心とした内容や施政方針についての代表質問など、多岐にわたる質疑意見等がなされている記事が掲載されています。一人でも多くの方に「だざいふ議会だより」を一読して頂ければ幸いです。

「だざいふ議会だより」は、広報「だざいふ」と合併され、年4回発行されています。例えば3月定例会の記事は、5月発行の広報「だざいふ」に合併号として掲載されています。限られたページ数を毎回どのように編集し、見やすい紙面づくりにするか各委員で協議研鑽しています。

今年1月に議会広報委員全員で志免町と福津市を視察させて頂きました。その折に議会広報の編集について、見出しの工夫や目を引く表紙、QRコードの活用など、様々学ばせて頂きました。これからも、一人でも多くの方に手に取っていただける「議会だより」を目指して委員全員で取り組んで参ります。読者の皆様、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

議会広報特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員	委員長	委員長
タコス	馬場	今泉	木村	堺利	笠田	原久美子
ド子	礼子	義人	彰	剛毅		

(S)